

令和2年9月17日
愛媛大学

プロテイン・アイランド・松山2020

植物ウイルスと農業被害 ～カンキツウイルス検査キットの開発～を開催します

愛媛大学、愛媛県、松山市、松山商工会議所、愛媛経済同友会は、「プロテイン・アイランド・松山」と銘打ち、愛媛大学が開発した無細胞タンパク質合成技術を愛媛の地域経済の活性化につなげる活動を行っています。このたび、その活動の一環として、愛媛県果樹研究センターと愛媛大学プロテオサイエンスセンターが無細胞タンパク質合成技術を用いて開発した、カンキツウイルスを高精度で検出する技術を紹介する講演会を企画しました。

カンキツウイルスにより引き起こされるカンキツウイルス病は、カンキツの栽培現場で問題になっている病害の一つで、感染した樹木では果実の糖度が低下するなどの症状が現れますが、現時点では感染した樹木からウイルスを除去する方法がないため、カンキツウイルスを高精度で検出する技術により感染した樹木を早期発見することが、感染被害の拡大を防止する唯一の手段となります。

今回は、この技術を直に体験していただける実験も行いますので、この技術を現場で利用しやすくするための検査キットの開発や製品化にご興味のある企業様のご来場をお待ちしております。

つきましては、地域の皆様に広くご周知いただきますとともに、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

記

日時：令和2年11月9日（月） 15：00～17：15

場所：テクノプラザ愛媛 テクノホール（松山市久米窪田町 337-1 駐車場有）

※当日、体調がすぐれない方はご来場をご遠慮ください。

※新型コロナウイルス感染対策のため、会場ではマスクの着用や手指の消毒等にご協力ください。

※定期的に換気を行いますので、調節できる服装でお越しください。

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、ウェブ開催となる場合があります。

最新情報は、プロテイン・アイランド・松山のウェブサイト（<https://pim-sympo.jp/>）でご確認ください。

※送付資料5枚（本紙を含む）

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学 プロテオサイエンスセンター

無細胞生命科学部門 講師 野澤 彰

TEL：089-927-8275

Mail：nozawa.akira.my@ehime-u.ac.jp



プロテイン・アイランド・松山2020

植物ウイルスと農業被害 ～カンキツウイルス検査キットの開発～

日 時: 令和2年11月9日(月) 15:00～17:15

場 所: テクノプラザ愛媛 テクノホール (松山市久米窪田町 337-1 駐車場有)

<https://bit.ly/3m2whWo>

参加費: 無料

参加資格: お住まいや職場が愛媛県内にある方

参加人数: 先着 50 人

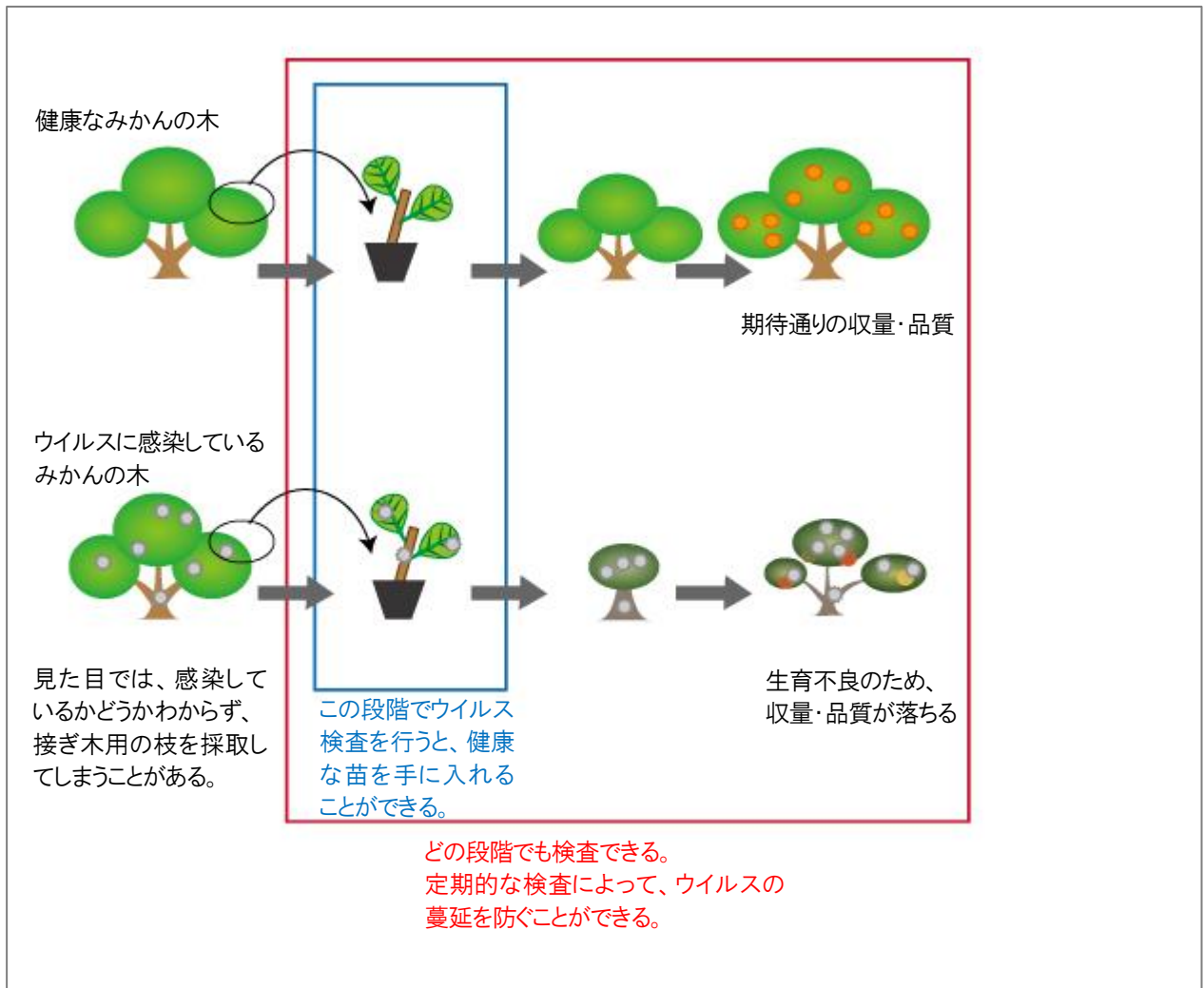
申込み: 事前にプロテイン・アイランド・松山のウェブサイトからお申し込みください。

<https://pim-sympo.jp/>

【プログラム】

時間	内容	所要時間	詳細
14:30	受付開始	30分	
15:00	開会	5分	主催者挨拶 愛媛県経済労働部産業支援局 局長 佐藤 努
15:05	講演1	20分	小林 括平 (愛媛大学 農学部・教授) 植物ウイルスについて (仮題)
15:25	質問票回収・休憩	10分	
15:35	講演2	20分	青野 光男 (愛媛県農林水産研究所 果樹研究センター・主任研究員) 愛媛県におけるウイルスによるカンキツの被害について (仮題)
15:55	質問票回収・休憩	10分	
16:05	講演3	20分	野澤 彰 (愛媛大学プロテオサイエンスセンター・講師) カンキツウイルス検査キットの開発
16:25	質問票回収・休憩	10分	
16:35	実技	15分	野澤 彰 (愛媛大学プロテオサイエンスセンター・講師) カンキツウイルス検査キットの使い方について
16:50	質疑応答	20分	質疑応答 (適宜、質問票回収)
17:10	閉会挨拶	5分	閉会挨拶 愛媛大学プロテオサイエンスセンター長 坪井 敬文
17:15	閉会		

説明図



用語説明

1) コムギ無細胞タンパク質合成技術

愛媛大学で開発された、実用的で高効率な真核生物型無細胞タンパク質合成技術。コムギ胚芽抽出液にメッセンジャーRNAを添加するだけで、目的タンパク質を効率よく合成できる。ヒトタンパク質の様な大きく複雑なタンパク質の合成に適している。現在のところ、他に汎用性の高い実用的な真核生物型タンパク質合成技術は存在しない。

2) カンキツウイルス病

ウイルスの感染により柑橘類に引き起こされる病気。カンキツウイルス病の発病樹では、葉が小型化・変形し、樹勢が低下する。また、果実の小玉化・糖度の低下などにより品質が低下し、収量も減少する。愛媛県では、愛媛果試第28号（紅まどんな）に感染するCiMVによるカンキツモザイク病が問題になっている。

3) カンキツウイルス (CiMV : Citrus Mosaic Virus)

カンキツモザイク病の病原ウイルス。接木や土壌伝染により感染する。現在、感染樹からウイルスを取り除く方法が存在しないため、カンキツウイルス病が発生した場合、感染拡大を防ぐには感染樹の伐採抜根が必要となる。